

迷うじゃないか!

世の中は面白いもので、^{例えば今}自分の手にした本には「何事にも力を出し切る」と書いてある。
 しかし、隣にある本には「力を抜いて生きましよう」と書いてある。全く正反対のことが人生の手本や学びとなる本に書かれてあるから驚きます。
 他にも例を上げてみると

頑張るなさい ↔ 楽みなさい
 努力がすべて

何事も受け入れ「yes」で... ↔ 断って楽になろう

自分を変える ↔ 自分らしく...
流れにまかせて...

思いが強ければ夢は実現する ↔ 思いを捨てる

人のために生きる ↔ 自分のために生きる

日々感動 ↔ 淡々と生きる
察々と

いろいろあるものです。

どちらが正しいとかはないようですが、その人の出逢うタイミングによって受取り方が変わるのでしょう。人の意見や説教も実はそんなもんなんですよ。

ゆえに時として迷ってしまうこともあります。

そんなもんだと知っているだけで、少し楽に生きていけようぞね ☺

そこで 正反対のことを上手く組み合わせたお話を紹介しましょう

おじいさん だより

ありがとうございませう

Vol.124
2014年9月

読んでいただきありがとうございます

作者：保険の専門家
鳥越介慎



何いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

人生前半は求め 後半は執着を捨てる生き方

私たちの人生は出発点と折返し点があるようです。(マラソンのように)

人生が80才とすると40才が折り返し。

前半は求める心が強いと追い風になり

後半は折り返すので前半と風向きが逆になる

ので、逆に執着を捨てる心が追い風になる

ようです。「あーあ若い頃と同じように

頑張れないうな。」と執着を捨てたり。

親や配偶者や友人との別れ、退職、体力の低下など

人生の決別の連続です。それに対して

いかに執着をしないかということで自分を

作っていくとよいでしょう。

そうすることで追い風に乗り換えるようです。

娘が帰ってくると...

今年の夏休みの一番の楽しみは東京の大学に行ってきた娘が春以降久しぶりに家に帰ってくるに当たった。
 子ども2人とも東京に行きしまし妻との2人暮らしの我家の冷蔵庫も久しぶりにいっぱい!!

洗濯物や茶碗洗いが土管で妻が元気にニコニコ「幸せだわ」と喜んでおかげで私もご馳走にありがたかったです。☺ そんな娘は

胃腸を掴む!

外交的な性格なので家に帰るときにも友達と遊ぶと優先で家でご飯を食べることは少ないのだからと思っていたが...びっくり!! 一緒に夕食をしてくれる機会がタカラた。

娘が言うには家のごはんは美味しいからと、いろいろとお母さんにリクエストもしている。

妻はニコニコと言

「子どもの胃腸を掴んでおくヒスゴイでしょ!」

あっぱれ!! である。

そんな私もしっかりと胃腸を掴まれているようですw